

発表③ 福井ブロック代表

「共に協力し合う」 福井市至民中学校 2年 菊池 洋平（きくち ようへい）

新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、その影響で外出の自粛や学校の休校、お店に休業を要請するなど、感染拡大防止のために、国や自治体はあらゆる手段を使って「普通の日常」を取り戻そうとしています。

しかし、そんな中、新型コロナウイルスへの感染をきっかけに差別を受けたり、外出の自粛が原因でストレスが溜まりネットでの悪口やDV被害などが多発しています。

僕は、世の中の人々が簡単に暴力を振るう、悪口を言う、また、デマ情報を流して人々をだます、そのようなことをする「今」が怖いです。今まで僕は、日本のことをどの国よりも平和な国だと思っていました。しかし、この騒動に関わる犯罪や風評被害をニュースで知り、僕の気持ちが一変しました。今、日本は情緒不安定で辛さと悲しみで包まれている国になっていると、僕は思いました。

大きなきっかけは、大阪府知事が休業要請に応じていただけなかった大阪府にあるパチンコ店の店名を公表する、という報道を知ったことです。しかし、僕はその報道よりもその翌日にあった報道の方がもっと驚きました。それは、営業しているパチンコ店の前に長蛇の列ができていたことです。パチンコ店の店名の公表がかえって人々を集まらせることになってしまったのです。僕はこの人たちや悪い行為をしている人たちに不信感を持ちました。「国民はみな、頑張ってストレスを溜めてでも外出の自粛をしているのに、この人たちは我慢の出来ない人たちなんだ。」「指示をされないと動けない人たちなんだ。」など、国民が外出の自粛で頑張った証を、こういう人たちが足で踏み潰していくんだと思うと、とても腹が立ちました。

また、政府よりも自治体の方が頑張っているように見えます。各自治体はさまざまな取り組みをしてそれぞれの都道府県の支援を行っているのに対して、4月の時点で政府の方は、会社・企業への補償金、国民への給付金の支給を行っていませんでした。もちろん、手間をかけてあらゆる面を考えて、慎重に行っているのだと思います。しかし、国民の安心・安全を守るため、スピーディーに考えていち早く実行する組織、それが政府だと僕は思います。賛否両論の意見がたくさんあるかと思いますが、国民の声も聞いていただきたいです。

なぜ、世界には緊急事態宣言でロックダウンをする国があったのに、日本ではロックダウンをしなかったのでしょうか。これはあくまでも僕の見解ですが、政府は国民が自主的に外出の自粛やソーシャルディスタンスを意識してくれるだろうと期待し、そして、日本は自主性のある国民がたくさんいる国だと世界に発信したかったからだだと思います。だからこそ、今は国民たちで一致団結して協力しないといけないのです。もし、あなたが少し油断して、新型コロナウイルスに感染し、家族にも感染させ、あなたの家族が亡くなってしまったら、誰が責任をとるのですか。世界で今もなお、このウイルスによって人々の命が奪われています。総理大臣や各都道府県の知事などが何度も強くおっしゃっていることですが、「一人一人が外出の自粛の協力をしていただけることで人々の命を救うことができる。」これが大切だと思います。

残念ながら、新型コロナウイルスなどのウイルスは絶滅しないでしょう。その一方で、人々の争いは今後もなくならないことが分かりました。心を持っている限り、ストレスや不満で争うはずですが、しかし、ちょっとした言葉をかけたり行動をしたりすることによって、その人の心を悪い心から善い心に変えられます。今、こんな世の中だからこそ、悪口や差別はせず、声を掛け合って、共に協力・助け合いをするべきではないでしょうか。